


報道機関各位

令和元年(2019年)9月24日(火) 配付

| | |
|------------------------|---|
| <p>項目</p> | <p>網走バス(株)「観光施設めぐり」の経路検索情報の公開について</p> |
| <p>配付資料</p> | <p>「標準的なバス情報フォーマット」の概要</p> |
| <p>内容及び報道に当たったのお願い</p> | <p>管内のバス路線の多くは、経路検索サイトやアプリなどでは検索できない状態となっており、観光客など地元以外の方にとっては、バスが走っていないものと認識されうる状況にあります。</p> <p>このため、インターネットによる経路検索を可能とするために必要なバス情報の整備を促進し、利用者の利便性向上や乗合バスの利用促進はもとより、事業者等による新サービスの創出に寄与することを目的に、当振興局と網走バス(株)が連携し、<u>「標準的なバス情報フォーマット(別添資料参照)」による経路検索に係るバス情報(GTFS-JP)を作成し、本日より公開(オープンデータ化)しました。</u></p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 対象路線 網走バス(株)が運行する「観光施設めぐり」</p> <p>2 実施内容 (1) 経路検索情報の公開(オープンデータ化) 網走バス(株)のホームページにおいて公開しています。</p> <p>(2) 経路検索の実現 網走バス(株)から Google へ情報を提供し、<u>Google マップでの経路検索が可能となりました。</u></p> <p>3 その他 管内乗合バスの生産性の向上にも資する取組ですので、積極的な報道をよろしくお願いします。</p> |
| <p>担当窓口</p> | <p>オホーツク総合振興局地域創生部 地域連携推進室長 橋爪 一樹 直通 0152-41-0618</p> <div style="text-align: right;">  </div> |

「標準的なバス情報フォーマット」の概要

「標準的なバス情報フォーマット」とは、バス事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受渡しのための共通フォーマットです。

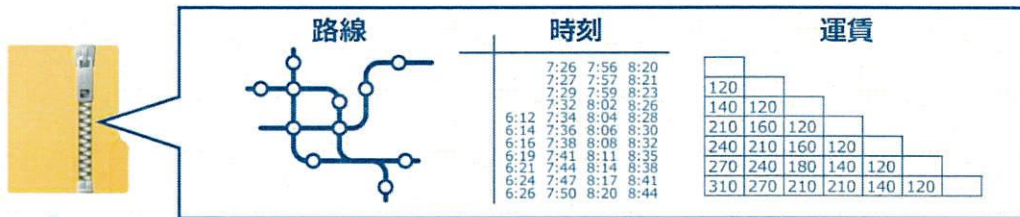
「標準的なバス情報フォーマット」制定の目的

- 1 バス情報を利用者ニーズに合わせて提供
 - ・データ化されていないバス事業者によるデータ整備の促進
 - ・バス事業者と情報利用者との情報受渡しの効率化・迅速化
 - ・乗換案内等での他のモードとのシームレス案内の実現
- 2 バス事業者の経営基盤強化
 - ・蓄積されたデータの活用による事業改善
 - ・MaaS※(マース)への戦略的参画

※MaaS: Mobility as a Service

「標準的なバス情報フォーマット」の構成

静的データ「GTFS-JP」と動的データ「GTFS Realtime」の2種類のフォーマットを包含しています。



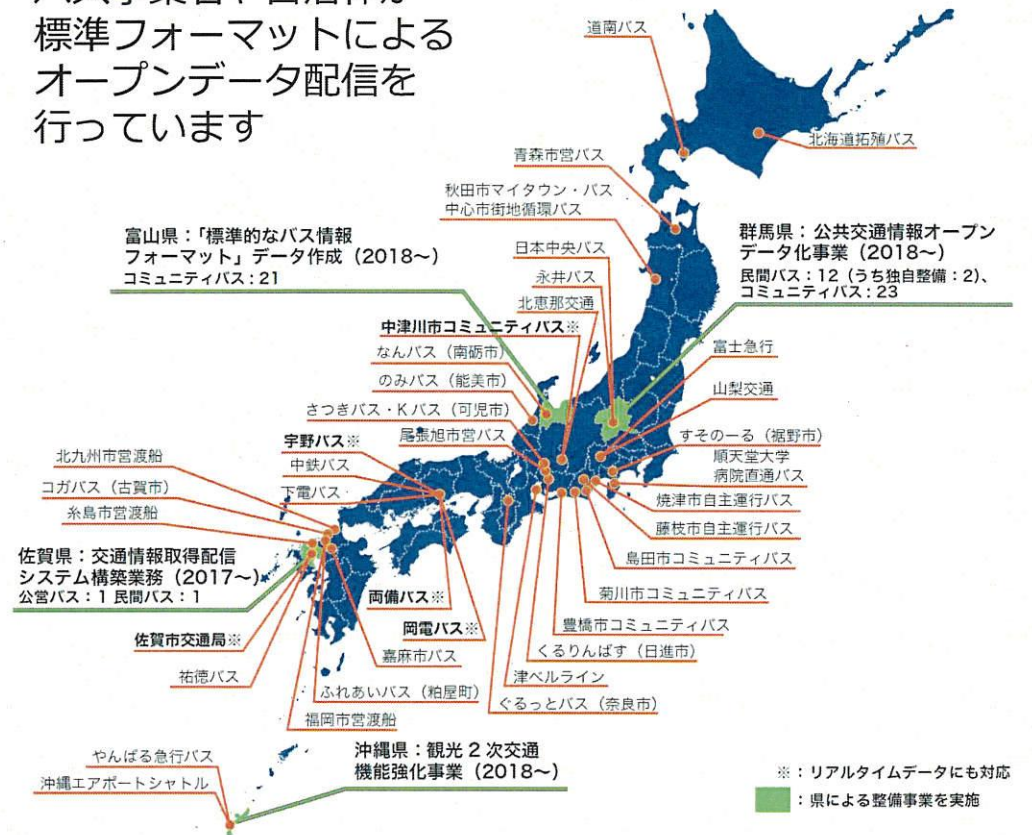
情報提供や交通分析に利用、バスロケとも連携可能(GTFS Realtime)

| 区分 | フォーマット名 | 対象とする情報 |
|-------|-----------------------|--------------------|
| 静的データ | GTFS-JP | 停留所、路線、便、時刻表、運賃等 |
| 動的データ | GTFSリアルタイム 略称:GTFS-RT | 遅延、到着予測、車両位置、運行情報等 |

いずれも国際的に広く利用されている「GTFS」(General Transit Feed Specification)を基本としているため、整備した情報が迅速に世界中の経路検索サービスに反映されるという特長があります。

「標準的なバス情報フォーマット」による公共交通オープンデータ一覧

全国90社(2019年2月時点)のバス事業者や自治体が標準フォーマットによるオープンデータ配信を行っています



情報源: 嶋田鉄兵「GTFS・『標準的なバス情報フォーマット』オープンデータ一覧」
<http://tshimada291.sakura.ne.jp/transport/gtfs-list.html>
 図表作成: 伊藤昌毅